



河内長野料飲宿連合会 会長：北野 博一

事務局：〒586-0015 TEL&FAX：0721-56-3222

本町 9-15 理事会：毎月第3火曜日

Email：info@2640krc.com

https://www.ris0721.com



会長のことば

会長 北野 博一 (日本料理 喜一)

河内長野市本町 11-30 / 0721-56-3065



元旦から能登地域を襲った地震のニュースは私たちに驚かせたと同時に、この寒い時期に、しかもなぜ元旦にと、憤りを覚えたことでした。

そして北陸の地で今なお避難生活で不自由な暮らしを強いられている方々のことを思うとやりきれない気持ちになります。ライフラインが整い少しでも落ち着いた生活を送られるよう心よりお祈りしながら出来ることはしっかりと協力させてもらいたいと思っております。

昨年同様、コロナの影響、外食離れ等々、私たちを取り巻く環境は、まだまだ厳しいものがあります。外を見るばかりでなく、ここで一旦、

内を見つめ直して、食の原点に立ち帰り、改めて料理の勉強、食材の研究をしたいと思っております。近頃では様々な料理が目や舌を楽しませてくれます。ジャンルにとらわれない新しい時代の料理、たとえばB級グルメの開拓に励み、地産地消、奥河内ならではの食文化の発展に努力し頑張っております。

組合員の皆様の活躍の場を広げ、お客様に喜んでいただきながら店の側も潤うような企画を今年をもっと考えていきたいと思っております。どうぞ皆様本年もご協力よろしくお願い致します。

副会長 山崎 一弘 (天見温泉 南天苑)

河内長野市天見 158 / 0721-68-8081



2024年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。元旦に発生した能登地方を震源とする大地震で被災された方々に、心からお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスによる行動制約が撤廃され、大手企業においてはインバウンド需要の回復や円安傾向が続いたことから、サービス業や輸出製造業など幅広い業界で企業収益は好調を維持し、景気は回復基調中であると言われております。しかし、目下、人口減少と高齢化率が続き、不名誉にも大阪府下worst1、2を争うと言われる、わが街、河内長野を取り巻く経済環境、経営環境は依然厳しく、さらに私ども飲食業においては、コロナ禍で得た自宅呑みや感染防止策にあったように外食への警戒感が未だに残り、なかなか客足が戻らず難しい経営環境となっております。

自身に翻って2,023年を振り返ってみれば、3月23日に"山川草膳 久右衛門"という地域食材を中心とした地産地消とベジタリアン志向のランチとカフェの新店をオープンいたしました。また"天見温泉 南天苑"においては、冒頭の一般的な経営環境の通り、インバウンド需要が復元し始め、宿泊来客は堅実に推移しているといえます。ただしコロナ以前のように異常に突出した伸びはなく、言葉を変えれば安定していますが、さらなるコンテンツの更新が必要な段階に入ったと感じています。

昨年、残念であったのは、11月16日"wine Café 椿家"を閉店したことであり、実に、コロナ禍の真只中、経営環境苦しい間での3年の営業であったと回想しています。力及ばず閉店のやむなさに至りましたが、同店が入居していた物件につきましては、すでに一昨年より新入居者が決まっており、さらに私どもの意思を受け継ぐべく古民家再生の大改装工事も始まり、今春のリニューアルオープンが楽しみに待たれる段階となっております。クラウドファンディングをはじめ、来店や応援いただいた皆様にこの場をお借りしてお礼と感謝申し上げます。

さて、失敗は成功の母と申しますが、そもそも、このwineCafé 椿家の開店の動機となったのは、まちづくりを専門的に指導されている木下 斉 氏の著書『稼ぐまちが地方を変える』鉄則 ①小さく始めよ った一軒の店がまちを変える"の一節です。

"たとえば100人のお得意さんを持つてるお店が10軒集まれば、地域で1000人のお客さんを持つことになり。お互いにお得意さん以外のお客さんも期待できるようになる。もちろん客層の重複も多少はあるだろうから純増で1000人になるわけではありませんが、適切に競争しながら全体のパイを広げていくことはできるわけです。簡単な加減乗除の理屈ですが、著書を読んだ当時としては"なるほど"と感心したものです。

しかし営業続けるにあたり、河内長野という地域特性に気づかされました。詳細については機会を譲りますが、その中で、他地域、他県からでも人が集まる理由・動機の必要性を痛感したことです。たとえば、お昼に大きなイベントがあれば夜はヒマになり、近くで大きなイベントがあればそちらに同じ市内の人々が吸い寄せられてしまいます。つまり"外食、外飲み"する同じレイヤーが同じ商圈内で一定の規模で消費行動している現状に行き当たります。結果的に、その中で得た教訓は、地域の"インフラとコンテンツは車の両輪"ということで、地域内の顧客を大切にすることはもちろんですが、やはり外部からここに惹きつける流動人口も、関係人口も増やしてゆく努力なくしては、やがて先細りとなり、同業者は市内に在住する特定の層の同じパイを奪い合う結果となってしまいます。

河内長野市は自然に恵まれた...とよく人は言います、また歴史と文化があり歴史資産や文化財が多く...ともいいます。しかし、昨今の情報化時代には、自然に恵まれ、ロケーションに恵まれた場所は大阪府下にも全国にも凡百あることが情報共有でき、またわざわざ河内長野の史跡名所よりも有名な寺社遺跡なども日本中に凡百あることが共有できます。河内長野はその情報時代の情報過多のセグメントから一歩抜きんでたコンテンツ(※内容=来訪する動機と成り得るモノ、コト)がさらに重要課題となり必用となってきたわけです。

今後新店の業態開発を進めるとともに、河内長野ならではのコンテンツづくり、河内長野の魅力の深堀りと情報発信を進めるべくまい進したいと思っております。今後とも会員の皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



会計 吉田 徹 [炭火焼鳥 一徹]

河内長野市菊水町 1-7 / 0721-55-1161

新年から能登半島地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。ここ何年も心苦しい世の中の出来事が続いている様に思われます。今年は良いことの多い年にしたいものです。さて、会員の皆様には、昨年は大変お世話になりました。コロナ禍がやっとならぬ空気が広まり何とか街にお客様が戻って来た感じがいたします。但し、4年前とは少しお客様が代わっているように見受けられます。世代交代が進んでいるような。

では、今年我々飲食店は、どういう方向を目指せば良いのか？よくマーケティングと言われますが、これから後にお客様が望むものを提供するノウハウを一步先を行く行動でもって行うことではないでしょうか。それを、一人ではなく一緒に考えるのがこの会なのではないでしょうか。原点に立ち戻り河内長野料飲宿連合会が、会員皆様の役に立ち、それがお客様(市民)の楽しみ繋がれば嬉しい限りです。今年はまた面白い企画が色々話し合われていますのでどうかご協力をお願いします。



理事 大塚 和好 [和・なごみ]

河内長野市本町 10-15 アダチビル 101 / 0721-53-0385

いつも当会の運営にご協力頂き有難うございます。

昨年、事務担当職員の退職にともない、会費回収業務の停止、又当会での保健所の営業許可証更新代行業務廃止など会員の皆様には少なからずのご足労やご不便をお掛けしております。

このところコロナ禍の不安もなくなり、お客様のご利用頻度も上向きになりつつあります。しかしながら我々を取り巻く環境は、物価高、人員不足、人件費の上昇等、益々厳しい状況にさらされています。

自店の営業に日々奮闘されている会員の皆様に少しでも当会が力になれるよう、私、一理事の立場で力不足ではございますが小規模店舗の目線で発言し、役員の方々と共に有用な意見を出し合い、毎月の役員会において、常に前を向き、発展的協議を重ねて参ります。今後も当会員としておつきあい頂きます様、宜しくお願い致します。



理事 川人 孝文 [焼きとり とりぞう]

千代田店：河内長野市木戸西町 3-1-5 / 0721-55-7678

2024年、始まったばかりに能登半島地震！被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

13年前の東日本大地震を思い出しました。世の中が暗い雰囲気や沈滞ムードの中、1人のかなり年配のおばあちゃんが来店してくださいました。1人カウンターに座られて食事をされていたので声をかけ挨拶をすると、「震災を憂ってばかりやといかんしなー、こうやって経済を回しにきたんやわ。」と笑顔で答えられました。頭の下がる思いがしました。

その震災の時、オマーンの王族系企業が被災した浄水器を製造する会社に26億円の発注をかけたそうです。工場も壊れた状態、従業員ももともと働けない状況で最初は詐欺だと思ったそうです。でもその発注は本当のものであり、付けられてた条件は浄水器が完成したらそちらで被災され困っている方のお役に立ててください。その後オマーンに送ってくださいという条件だったそうです。素晴らしい取り計らいに感動したことを覚えています。

今回、震災を逆手に悪事を働く不心得者がいることを報道で知り憤りを感じます。経済も不安定、今の政治も頼りになるのか不安ですが、ないものを憂うより、今あるもの、今ある環境に感謝し上を向いて、上を目指して頑張っていこうと思う2024年です。

どうぞ今年もよろしくお願い致します。



理事 西岡 恭弘 [酒蔵にしおか]

河内長野市本町 24-1 ノパティながの北館地下 1F / 0721-53-0111

明けましておめでとう御座います。

料飲宿組合の会員の皆様も健やかな新年を迎えられた事と思えます。

去る1月1日の能登半島地震で被害に遭われた方々へのお悔やみと一日でも早い復興を願っております。

さて、コロナ禍も落ち着き経済活動も以前に戻りつつありますが、都市部ではコロナ第10波との報道もされています。

また、ワイン等の仕入れ価格や備品関係、配送料などの値上がりなど、大変難しい状況も否めませんが、苦境な時ほどチャンスと思いい、聞く耳を持ってそして謙虚な姿勢で商売をして行こうと思っております。

末筆になりましたが、料飲宿組合の会員の皆様のご健康とご多幸を祈念して新年の抱負と致します。

役員の皆様、いつも感謝しております。

飲食・宿泊業のみなさま 河内長野を一緒に盛り上げませんか？

河内長野料飲宿連合会
会員募集中!!

会費：月 1,600 円

会員メリット

- ・河内長野料飲宿連合会サイトでお店のご紹介をします。(希望店舗のみ)
- ・河内長野市商店連合会の会員特典も受ける事ができます。
- ・TsunagaruかわちながののWebサイト/SNSで情報発信
- ・旨いもん市などの飲食イベントに出店できます。
- ・各省庁からの情報提供。
- ・経営相談や会員間の交流。



河内長野料飲宿連合会とは

市内で営業されている料飲宿に関わるみなさまに
繁栄と親睦を願って創られた団体です。
HP : <https://www.ris0721.com>

お問い合わせ ▷ 事務局：〒586-0015 本町 9-15

TEL&FAX：0721-56-3222 Email：info@2640krc.com